

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	静岡県における安全で潤いと憩いのある海岸づくりの推進 (防災・安全)									
計画の期間	平成22年度	～	平成24年度	交付対象	静岡県					
計画の目標	海岸侵食の顕在化や頻発する高潮、想定される東海地震の津波による災害リスクの増大に対し、地域住民や河川管理者等と連携・協力しつつ、砂浜の保全・回復による自然防御力を主体とした高潮・侵食対策、海岸保全施設の老朽化対策および津波高潮に対する危機管理を順応的に行うことにより、富士山を仰ぐ海岸景観や美しい白砂青松を守り、安全で潤いと憩いのある海岸づくりを推進する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	・耐震化された海岸保全施設の延長を、H21末の39.8km (87.9%) からH24末に45.1km (100.0%) へ増加。【国土交通省河川局所管の海岸を対象】 ・津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長を、H21末の52.7km (54.4%) からH24末に54.5km (56.3%) へ増加。【国土交通省河川局所管の海岸を対象】 ・海岸侵食に対して、現在の海岸線防護対策が完了している海岸線の延長を、H21末の24.5km (46.1%) からH24末に32.1km (60.3%) へ増加。【国土交通省河川局所管の海岸を対象】									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値	中間目標値	最終目標値				
				(H21末)	( )	(H24末)				
① 耐震化された海岸保全施設の延長 (液状化対策事業等により耐震化された海岸保全施設の延長 (km) / 東海地震の発生に伴い耐震化が必要な海岸保全施設の延長 (km) )				39.8km (87.9%)	-	45.1km (100.0%)				
② 津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長 (津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長 (km) / 各地区の海岸で発生すると想定される津波・高潮に対して防護すべき海岸線の延長 (km) )				52.7km (54.4%)	-	54.5km (56.3%)				
③ 海岸侵食に対して、現在の海岸線防護対策が完了している海岸線の延長 (侵食対策事業が完了している海岸線の延長 (km) / 侵食対策が必要な海岸線の延長 (km) )				24.5km (46.1%)	-	32.1km (60.3%)				
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,728 百万円	A	3,238 百万円	B	0 百万円	C	490 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ											
第2期 (H20～H24)						第3期 (H25～H29)					
分野名	安心・安全					分野名					
目標名	地震災害対策の推進					目標名					
指標名	耐震化された海岸保全施設の延長	目標値 (H24)	100.7km			指標名	目標値 (H29)				
分野名	安心・安全					分野名					
目標名	地震災害対策の推進					目標名					
指標名	津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長の割合	目標値 (H24)	72.3%			指標名	目標値 (H29)				
分野名	安心・安全					分野名					
目標名	風水害対策の推進					目標名					
指標名	海岸侵食において、現状の海岸線防護対策が完了している海岸線	目標値 (H24)	50.1km			指標名	目標値 (H29)				

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 海岸事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H22	H23	H24	H25	H26			
A-1	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮	-	清水西海岸 高潮対策事業	離岸堤、消波堤、消波工、養浜	静岡市						1,269.8	△	H32
A-2	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食	-	浅羽海岸 侵食対策事業	サンドバイパスシステム、養浜	袋井市						260.0	△	H27
A-3	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食	-	浜松篠原海岸 侵食対策事業	離岸堤、養浜	浜松市						617.2	△	H32
A-4	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化	-	浜松五島海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	堤防耐震補強	浜松市						436.0	○	
A-5	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化	-	静岡海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	堤防補強	静岡市						258.6	○	
A-6	海岸	一般	静岡県	直接	-	津波高潮	-	津波高潮危機管理対策緊急事業	津波防災ステーション、情報基盤整備、海象計、ハザードマップの作成支援、避難用階段の整備、極門設備改良	沼津市・静岡市						126.2	△	H25

A-7	海岸	一般	静岡県	直接	-	侵食	-	竜洋海岸 侵食対策事業	離岸堤・養浜	磐田市						120.0	△	H44
A-8	海岸	一般	静岡県	直接	-	高潮	-	静岡海岸等 高潮対策事業	堤防耐震補強、嵩上	静岡市						20.0	△	H34
A-9	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化	-	遠州灘沿岸 老朽化対策緊急事業	堤防補強	御前崎市ほか						50.0	△	H26
A-10	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化	-	駿河湾沿岸 老朽化対策緊急事業	堤防補強	静岡市ほか						80.0	△	H26

合計 3,238

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26			

合計

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26				
C-1	計画・調査	一般	静岡県	直接	-	環境調査	海岸環境調査	環境調査	静岡市							20.0	-	未実施
C-2	計画・調査	一般	静岡県	直接	-	侵食対策	侵食対策の検討	侵食対策検討、漂砂調査	牧之原市							0.0	-	未実施
C-3	海岸整備	一般	静岡県	直接	-	砂浜保全	緊急海岸環境改善事業	美浜、離岸堤、堆砂坝、侵食対策検討、漂砂調査	磐田市・袋井市・豊川市・御前崎市							110.0	○	
C-4	計画・調査	一般	静岡県	直接	-	侵食対策	侵食対策の検討	侵食対策検討、漂砂調査	浜松市・湖西市							40.0	-	未実施
C-5	施設整備	一般	静岡県	直接	-	施設整備	監視施設整備	定点カメラ	下田市・東伊豆町							0.0	-	未実施
C-6	施設整備	一般	静岡県	直接	-	施設整備	監視施設整備	定点カメラ・海岸防災ホームページ・海岸カルテの整備	高松市・磐田市・袋井市・湖西市							120.0	○	
C-7	施設整備	一般	静岡県	直接	-	標識設置	避難関連施設の設置	定点カメラ・避難用階段の整備、啓発標識設置、パンフレット作成、美浜海岸防災ホームページ・海岸カルテの整備	静岡市・牧之原市							100.0	△	H29
C-8	施設整備	一般	静岡県	直接	-	標識設置	避難関連施設の設置	啓発標識設置、パンフレット作成	高松市・磐田市・袋井市・湖西市							100.0	○	

合計 490.0

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C-1	動植物などの環境調査を行い、砂浜回復の効果把握することにより、富士山を仰ぐ美しい白砂青松で形成される駿河湾沿岸の海岸づくりに寄与する。																
C-2	漂砂バランスが崩れ、局所的な対策が必要な牧之原市内の一連の海岸において、漂砂調査等により海岸の状況を監視するとともに、侵食対策の最適な手法を検討することにより、富士山を仰ぐ美しい白砂青松で形成される駿河湾沿岸の海岸づくりに寄与する。																
C-3	漂砂バランスが崩れ、局所的な対策が生じている天竜川以東の遠州灘一連の海岸において、漂砂調査等により海岸の状況を監視するとともに、遠州灘プロジェクトの成果の一つである動的土砂管理の新しい考え方である「礫体による漂砂制御工法」などを活用し、河川管理者や地域等と連携した養浜などを実施することにより、砂浜の保全・回復を図り、美しい白砂青松で形成される遠州灘沿岸の海岸づくりに寄与する。																
C-4	漂砂バランスが崩れ、局所的な対策が生じている天竜川以西の遠州灘一連の海岸において、漂砂調査等により海岸の状況を監視するとともに、侵食対策の最適な手法を検討することにより、美しい白砂青松で形成される遠州灘沿岸の海岸づくりに寄与する。																
C-5	既設の樋門設備を改良(フラップゲート化)することにより、津波・高潮時の被害軽減を図る。また、定点カメラで海岸の状況を監視することにより、高波浪等に伴う砂浜の状況変化を適切に把握する。																
C-6	海岸管理者と住民が情報共有し、情報交換可能という双方向性を持たせた「海岸防災ホームページ」や「海岸カルテ」の整備により、海岸管理の合理化・高度化を図るとともに、遠州灘プロジェクトの成果を活用した海岸管理の手法により、美しい白砂青松で形成される遠州灘沿岸の海岸保全を図る。																
C-7	静岡海岸・清水海岸や相良海岸において、海岸の現状や対策の状況、避難対策に関する周知・啓発を地域住民へ着実にを行うことにより、海岸事業に対する理解を一層推進させるとともに、富士山を仰ぐ美しい白砂青松を構成する砂浜の重要性など海岸への意識向上を図る。また、海岸管理の合理化・高度化を図るため、「海岸防災ホームページ」や「海岸カルテ」を整備するとともに、定点カメラで海岸の状況を監視することにより、高波浪等に伴う砂浜の状況変化を適切に把握する。																
C-8	湖西海岸、新居海岸、浜松篠原海岸、浜松五島海岸、竜洋海岸、福田海岸、浅羽海岸において、海岸の現状や対策の状況、避難対策に関する周知・啓発を地域住民へ着実にを行うことにより、海岸事業に対する理解を一層推進させるとともに、富士山を仰ぐ美しい白砂青松を構成する砂浜の重要性など海岸への意識向上を図る。																

その他関連する事業

A1 海岸事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H22	H23	H24	H25	H26			
A-5'	海岸	一般	静岡県	直接	-	老朽化	-	静岡海岸 海岸堤防老朽化対策緊急事業	堤防補強	静岡市						341.4	○	
A-6'	海岸	一般	静岡県	直接	-	津波高潮	-	津波高潮危機管理対策緊急事業	津波防災ステーション、情報基盤整備、海象計、ハザードマップの作成支援、避難用階段の整備、樋門設備改良	南伊豆町、沼津市、静岡市						710.0	△	H25

合計 1,051

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-2'	計画・調査	一般	静岡県	直接	-	侵食対策	侵食対策の検討	侵食対策検討、漂砂調査	牧之原市						40.0	-	未実施
C-5'	施設整備	一般	静岡県	直接	-	施設整備	監視施設整備	定点カメラ	下田市・東伊豆町						40.0	-	未実施
合計													80				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

【H24 予】GのNo.2 【H24】GのNo.78～79、172～173 【H23】GのNo.116～118、203

(別添「事業実施計画」参照)

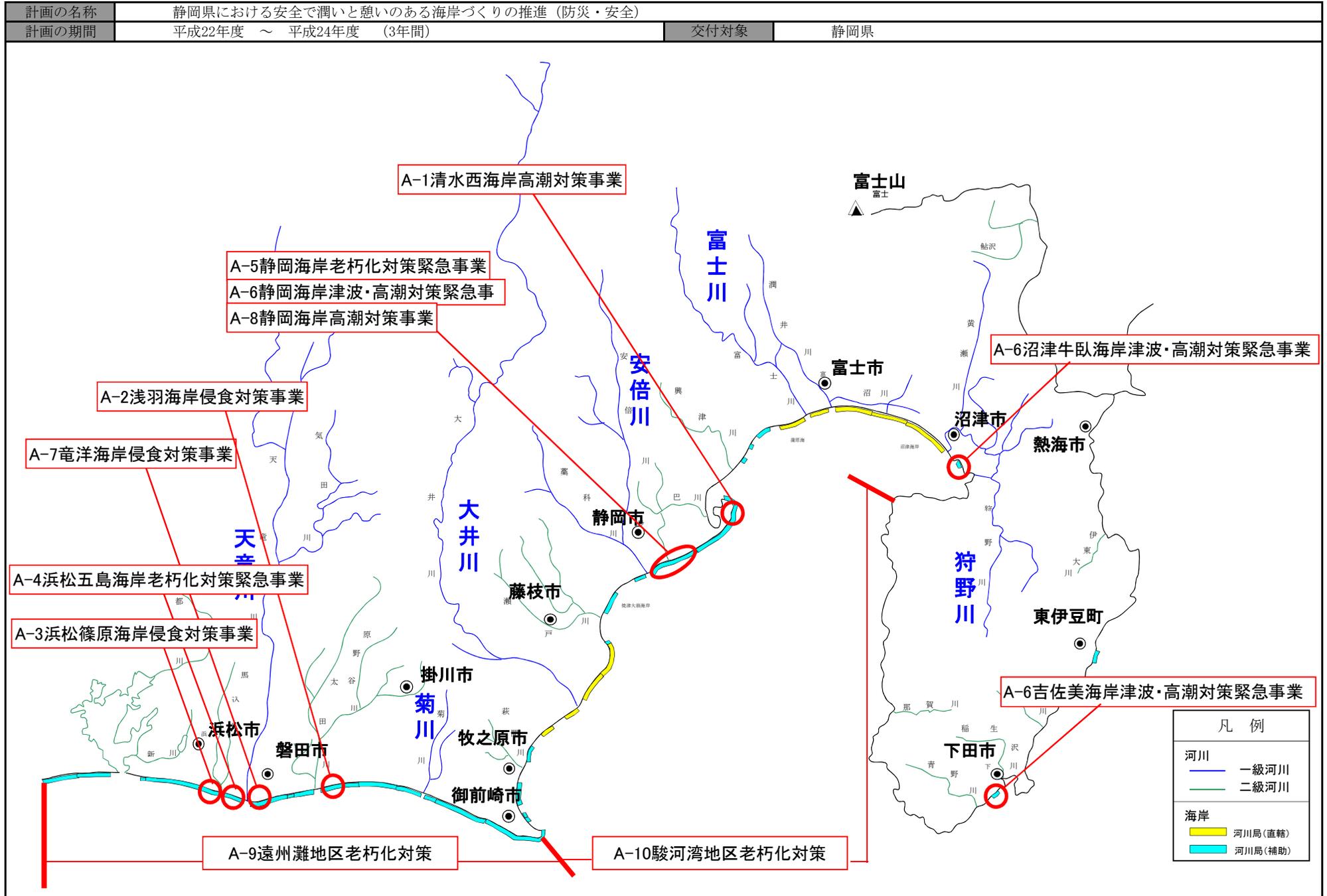
## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>浜松五島海岸や吉佐美海岸の堤防耐震化工事を実施した結果、液状化による堤防沈下が防護され、津波等に対する安全度が向上した。</li> <li>清水西海岸や浜松篠原海岸の養浜工事により、防護に必要な浜幅確保され、背後地の住宅や交通網等の安全が確保された。</li> </ul>																
定量的指標の達成状況	指標①(耐震化された海岸保全施設の延長)	最終目標値	45.1km	目標値と実績値に差が出た 要因	静岡県第4次地震被害想定により堤防嵩上げが必要になった吉佐美海岸について、嵩上げ工事と一体的に施工するため、今回計画期間内での実施を保留したため。													
		最終実績値	45.0km (98%)															
	指標②(津波、高潮による災害から守られた海岸線の延長)	最終目標値	54.5km	目標値と実績値に差が出た 要因		計画どおりの進捗が図られた。												
		最終実績値	54.5km (100%)															
	指標③(海岸侵食に対して、現在の海岸線防護対策が完了している海岸線の延長)	最終目標値	32.1km	目標値と実績値に差が出た 要因			浅羽海岸サンドバイパスシステムの構築は完了したが、計画養浜量に対する土砂排出量のモニタリング結果の検証が未完了のため、浅羽海岸の延長約4.5kmを実績に含まないこととしたため。											
		最終実績値	27.6km (41%)															
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進行していた静岡海岸の堤防補強により、堤防機能の回復が図られた。</li> </ul>																

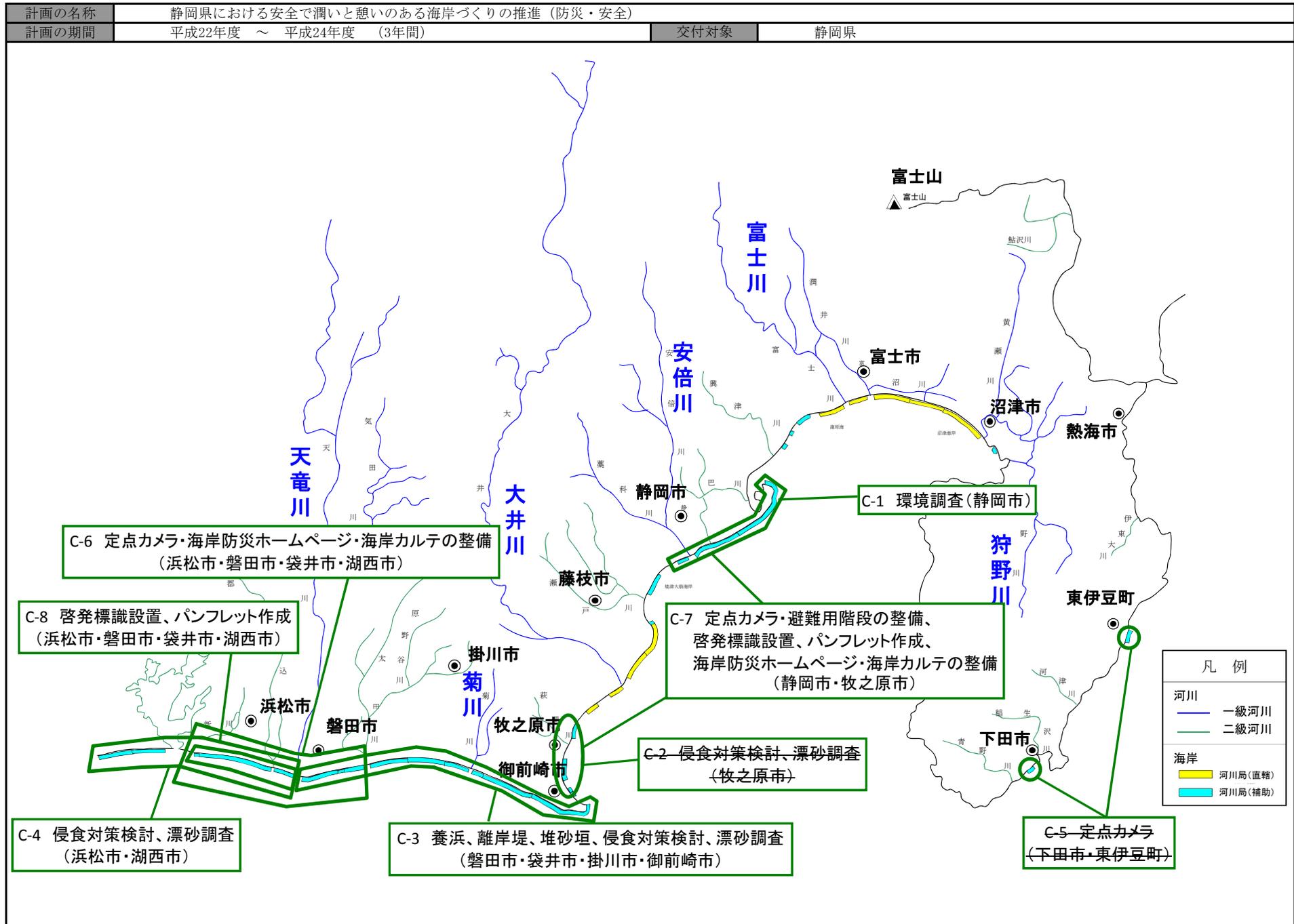
## 3. 特記事項(今後の方針等)

引き続き、交付金事業による各事業の進捗を図り、安全で潤いと憩いのある海岸づくりを推進していく。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)



(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

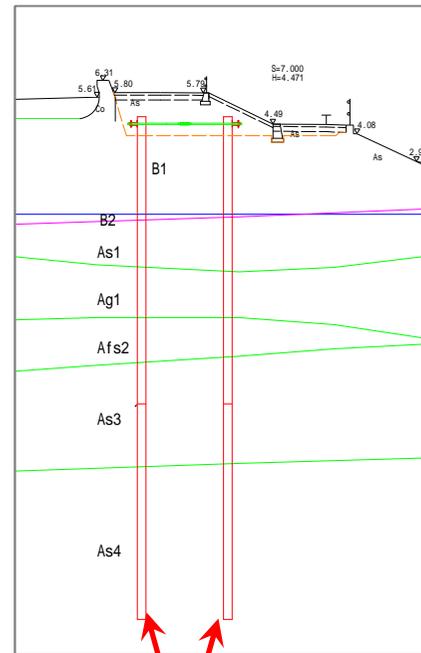
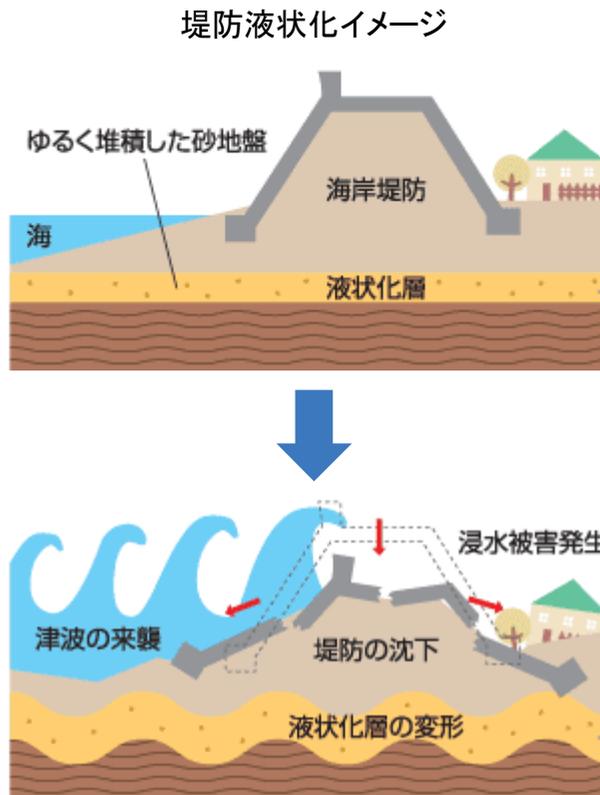


# 事業効果の発現状況

## 海岸堤防等老朽化対策緊急事業

地震に伴う液状化により海岸堤防の沈下が想定されていた浜松五島海岸において、耐震対策工事により堤防機能を強化することで、背後地の生命・財産の安全を確保することができました。

### 【事例】浜松五島海岸



耐震対策工事の施工状況



堤防法肩に施工した鋼矢板を接続することで、必要な天端高を確保します

**二重締切矢板工法**